



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索

発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者 昭和大学病院長 板橋 家頭夫
編集責任者 広報委員長 中村 清 吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
TEL: 03-3784-8000 (代表)

救急医療センター長就任のご挨拶

昭和大学病院 救急医学科 土肥 謙二

この度、4月1日付で昭和大学病院救急医療センター長を拝命しましたので、ご挨拶申し上げます。電通問題をはじめとして、現在、多くの業界でより一層厳しい労務管理が求められています。そして、医療業界にも今までになく厳重な労務管理が求められるようになりました。最近も某有名病院で医師の勤務時間短縮のために土曜日の外来診療を縮小したことが大きなニュースになりました。皆様御存知のように昭和大学では他の大学に先駆けて、医師の労務問題に取り組んでいます。

昭和大学病院でも板橋病院長のリーダーシップのもと、4月1日から全科当直の廃止などの様々な先進的な改革が進行中です。そのような様々な労務環境の変化は質の高い救急医療の継続に厳しさをもたらしています。昭和大学病院は災害拠点病院であり、品川区唯一の3次医療機関、いわゆる最後の砦です。このような労働時間の短縮と質の高い救急医療を維持するためには“業務の合理化（それぞれの職種が医療人として、そしてプロフェッショナルとして自分の仕事に集中できる体制づくり）”を行うとともに、“人材の合理的な活用”が必要なのはいうまでもありません。その実現のために、今までそれぞれが全く独立した形で救急診療を行っていた総合診療センター（1次2次救急）と救命救急センター（3次救急）が4月1日より救急医療センターと組織統合して新たにスタートしました。両センターがお互いに協力するはもちろんのこと、各科から多くの出向の先生に助けていただき質の高い救急医療、1次から3次までのシームレスな救急医療の実現を目指して

頑張っています。今年の昭和大学病院の病院目標の中に“高度な急性期医療の提供”、“救急の応需率90%以上”が掲げられています。しかし、単に“救急患者を断らない”“救急車を100%受け入れる”だけでは意味がありません。もっと重要なことは“患者と医療従事者の安全の確保”です。これらの一見相反する目標の実現のためには、各科の医師が今まで以上にお互いが協力して連携することが必要です。私は、昭和大学は数ある大学の中でも多職種連携という部分では日本一だと思っています。今後は日本一の多職種連携だけではなく、科の垣根を超えた医師と医師との連携を強めていくことが、労働時間の短縮と医療の質の向上、さらには断らない救急医療の実現へ向けた鍵となると考えています。そして、新しく生まれ変わった救急医療センターが“診療時間外の病院の顔”であると同時に多職種連携、地域連携、さらには医師－医師間の連携強化の中心（全ての連携のハブ）になれば良いと思っています。今も色々な問題が山積しており、今後も新たな問題が出てくると思いますが私のモットーの“どうせやるなら楽しく、厳しく”の精神で頑張っていく所存でございます。皆様のご協力、そしてご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



圧倒的・豊富な脳神経外科手術件数により 全国から患者さんが紹介されています

当科の責任者:水谷は東京都多摩地区での20数年間を経て、2012年から昭和大学病院:脳神経外科で
の科長となり、2001年7月～2016年の期間にわたって主導した脳神経外科手術件数が8,392件でした。
その中でも術者、指導助手、監修者として、脳動脈瘤クリッピング術 1,690件、頸部頸動脈内膜剥離術 771
件、脳血管バイパス術 437件、脳腫瘍摘出術 966件と日本有数の規模の手術に関わってき
ました。脳動脈瘤の中でも、特に解離性脳動脈瘤治療経験数は350例を超え、脳動静脈奇形(AVM)の
手術経験も100件を超えています。

全国から手術やカテーテル治療が困難な患者さんをご紹介いただきました。2016年の主な手術件数は
脳動脈瘤開頭術 106件、脳動脈瘤血管内治療 39件、頸部頸動脈内膜剥離術 44件、頸部頸動脈ステント
留置術 34件、バイパス術 18件と特に**脳動脈瘤、頸動脈内膜剥離術は全国有数です**。

診療体制

一般外来の他、脳動脈瘤、頸部頸動脈狭窄、脳動静脈奇形(AVM)、バイパス術が必要な脳血管障害、脳
腫瘍、顔面けいれん等手術の相談や手術や血管内治療が必要となる方には、専門スタッフによる診察、治療
の体制を敷いています。またセカンドオピニオンにも対応しております。

多くの手術において安定した結果を出すためには、“安全、確実”が何より大切だと考えています。手術や血
管内治療を受けられる方についてはもちろん、すべての患者さんについて、その一人一人について詳細にデ
ータを検討し徹底的に治療方針、手術の方法をきめ細かくスタッフ一同で討議して治療にあたっています。

特徴的な治療領域

・巨大脳動脈瘤手術(クリッピング術・脳動脈バイパス術・脳動脈瘤塞栓術(脳血管内治療))

巨大脳動脈瘤は、破裂率が通常のサイズの動脈瘤の何倍も高く、治療難度も高い動脈瘤です。治療は
開頭手術が主体になりますが、動脈瘤自体にクリップをかけることが困難な場合には、動脈瘤が発生
している動脈を閉塞させ、代わりにバイパスを作成する「脳動脈バイパス術」やカテーテルを用いた
「脳動脈瘤塞栓術」との複合治療など、患者さんの脳動脈瘤に適した手術方法を提案しています。

・脳腫瘍(良性)・頭蓋底腫瘍手術

新たな神経症状を出さないことをモットーに、血管や脳神経、脳幹部との癒着が強い場合には意図的に
皮一枚腫瘍を残し臨機応変にガンマナイフ、サイバーナイフ治療等の補助治療と組み合わせた集学的な
治療を行います。また、脳原発の腫瘍以外の耳鼻科や眼科領域の頭蓋底腫瘍に対しても、耳鼻科・眼科・
形成外科と連携して治療を行います。聴神経腫瘍やその他難易度の高い頭蓋底腫瘍などに対しても、
モニタリング・ナビゲーションを常用し、経験豊富な水谷、清水が頭蓋底外科手技を駆使した安全確実
な手術を行っています。

脳神経外科 診療科長:水谷 徹(MIZUTANI Tohru)

趣味:釣り

地域の各病院、医院と重点的な医療連携体制をとっています。くも膜下出
血、脳出血、急性期脳梗塞を中心とする急性期脳卒中は24時間体制で受け
入れています。治療終了後は基本的に紹介元にお返事をご報告し、紹介元の
先生に積極的に患者さんをお戻ししています。



専門外来のご案内

「三叉神経痛・顔面けいれん外来」

片側の顔のひきつれ

歯の痛みの原因は頭蓋内の血管かも？

三叉神経痛は色々な原因によってひきおこされるため、正確に診断する必要があります。顔や歯茎の激しい痛みであったり、喋ったり、ものを噛むと下あごから頬に激痛が走る、あるいは冷たい風に触れたり、顔を触る、おでこ、目の周り、口のまわりなどに限局して激しい痛みが走るなどの症状があります。また、虫歯の痛みと区別が難しいため歯科を受診し、三叉神経痛とわかることも多いようです。昭和大学では歯学部とも連携し治療にあたっています。

【顔の片方だけがぴくぴくと動いて、ひきつれる状態】

対象の患者さん

「三叉神経痛」、「顔面けいれん」

※顔面けいれんとは、片側の顔面が自分の意思とは関係なくピクピク動く症状です。顔面のけいれんは明らかな症状で分かりやすいので、顔が無意識に収縮するような症状がある場合（右側絵）は、脳神経外科を一度ご受診ください。



治療について

顔面けいれんにはボツリヌス療法、三叉神経痛にはテグレトールという特効薬などがありますが、根治には神経減圧術（微小血管減圧術）という手術が必要となります。手術は、500 円玉程度の開窓から行う鍵穴手術で行います。昭和大学病院では、清水医師が名手で全国からの紹介を集めています。

予約の手続きについて

- ◆外来日：毎週木曜日：午前
- ◆「紹介状」が必要です。予約は医療連携室（03-3784-8400）へお電話いただき、「三叉神経痛・顔面けいれん外来」のご予約をお取りください。
- ◆担当医：清水 克悦（脳神経外科／准教授）



今月の熱血医療人

Vol.11「放射線治療品質管理士」



～このコーナーでは専門資格を有している
熱血メディカルスタッフの方を紹介します～

Q. どういった専門資格でどういった仕事をしているのか

放射線治療品質管理士とは、過去に多くの病院において発生した放射線治療における過剰照射や過少照射による医療事故に対し、放射線治療に関連する 5 つの学会および団体により放射線治療における医療事故防止の対策の一つとして創設された資格です。業務内容は、放射線治療の品質管理に関わる業務を主に行っており、線量測定や放射線治療計画機器・システムの品質（精度）管理・保証を専門的に担っております。平成 20 年 4 月の診療報酬改定において、医療機器安全管理料 2 が新設され、この業務の必要性が公に認められています。



久保 聡さん

Q. 患者さんに対してのメッセージをお願いします。

癌治療に対する治療法のひとつとして、放射線治療は近年めざましい技術が進んでおります。それに伴い放射線治療装置は、より高い精度が求められるようになっていきます。高精度放射線治療のひとつである IMRT（強度変調放射線治療）や高線量を集中的に照射する SRT（定位放射線治療）と呼ばれる治療も近年では登場しています。当院でもそのような治療に対応すべく、日々、放射線治療装置の管理および線量の検証を行っていますので、安心して放射線治療を受けて頂きたいと思います。

昭和大学病院附属東病院手術室の外科用 C アーム更新報告

平成 29 年 4 月より、昭和大学病院附属東病院に整形外科が開設されました。それに伴い、平成 29 年 5 月に整形外科手術で使用される外科用 C アームイメージングシステム Cios Fusion（Siemens 社製）が新規導入されました。

本装置は、スリムな X 線管装置と広内径 C アームにより、手術の視野スペースにゆとりがあり、手術を施行する医師の手術環境が現状より良好になります。また、X 線検出部には最新のフラットディテクタ（FD）を有するため、被ばくを抑えながら高画質な画像を得ることができ、さらに患者さんをはじめ医師およびスタッフに対する被ばく低減が図れます。



【外科用 C アームイメージングシステム】

平成 29 年度統括部長会ワークショップ開催報告

平成 29 年 6 月 2 日（金）～3 日（土）の 期間、葉山 I P C 生産性国際交流センターにて、平成 29 年度統括部長会主催ワークショップが開催されました。

平成 22 年度に第 1 回を開催してから早 8 年が経過しました。昭和大学附属病院・多職種混合で参加者計 40 名とディレクター、ファシリテータ、オブザーバー、スタッフ計 17 名が参加し、「昭和大学が地域医療を支えるためにできること」をテーマとして、グループに分かれ、様々な意見をぶつけ合い、討論が行われました。多職種混合のワークショップのため、職種を超えた交流ができ、各病院・各職種間のコミュニケーションを円滑にするうえでも有意義な 2 日間を過ごすことができました。



【統括部長会ワークショップ参加者の集合写真】



【統括部長会ワークショップ中の様子】

昭和大学病院内視鏡外科セミナーに参加して

昭和大学病院 消化器・一般外科 講師 大塚 耕司

今回で、病院全体として6年目となる内視鏡外科セミナーに講師として参加してまいりました。今年も例年のごとく盛況で、基礎的知識の講義ののちに、実践として手術トレーニングを行いました。各科（消化器外科・呼吸器外科・婦人科・泌尿器科）に今年入局した新人の先生をはじめとして、若手医師が中心となりトレーニングしました。また、例年より多い13人も手術室看護師と一緒に参加し、手術における術者・助手・カメラ持ちという医師の役割を経験しました。また、他にも実際の手術中の器械を渡す時の注意点や、手術中の医師のストレスや、繊細なこだわりに至るまで、手術を円滑に合併症なく遂行するための工夫や手技についても勉強しました。このように、全ての手術は医師・看護師の連携が非常に大切であるので、お互いの立場を理解し、一つ一つの操作において相手の気持ちになりながら、より良い手術を作り上げていくという意識ができたのではないかと思います。

これからの昭和大学の内視鏡外科手術はさらに安全に、そして円滑な手術になるに違いないと今回の参加医師・看護師の姿勢を見ていて強く思われました。



【昭和大学病院内視鏡セミナー参加者の集合写真】

七夕ライトダウンについて ～ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜。～

環境省では2003年から地球温暖化防止のため、毎年夏至の日からクールアース・デー（7月7日）までの期間、ライトアップ施設や家庭に対して、照明の一斉消灯を呼び掛ける「CO2削減／ライトダウン キャンペーン」を実施しています。この取り組みは照明を消すことで地球温暖化問題について考えるきっかけ作りを目的としています。

昭和大学病院と附属東病院でも平成29年7月7日（金）20:00～21:00の間、同キャンペーンに参加いたします。どうぞご理解・ご協力のほどお願いいたします。

クールアース・デーとは？

天の川を見ながら、地球環境の大切さを日本国民全体で再確認し、年に一度、低炭素社会への歩みを実感するとともに、家庭や職場における取り組みを推進するための日です。2008年のG8サミット（洞爺湖サミット）が日本で7月7日の七夕の日に開催されたことを契機に、毎年7月7日がクールアース・デーと定められました。

文責：管理課

病気を理解することは心臓リハビリテーションを行ううえでとても重要です。昨年 7 月から日本ヨーガ療法学会の協力をいただき、10～20 分間のヨーガ療法の実践も取り入れています。ご家族をお連れしてお気軽にご参加ください。

第 110 回「これで安心 高血圧を治す」

平成 29 年 8 月 5 日（土）10:30～11:30

第 111 回「コレステロールと脂肪 常識と非常識」

平成 29 年 10 月 7 日（土）10:30～11:30

第 112 回「よくわかる 糖尿病と心臓病」

平成 29 年 11 月 25 日（土）10:30～11:30

場 所：昭和大学病院 中央棟 7 階研修室

参 加：参加費は無料、予約必要無し。どなたでもご参加可能です。

ご家族・知人などお連れのうち、奮ってご参加ください。

その他：筆記用具をご持参ください



クールビズの実施について

昭和大学では、平成 29 年 9 月 30 日までの期間クールビズに取り組んでおります。気象条件により一部変更いたしますが、室内温度は 28℃に設定させていただきます。昭和大学は一丸となって節電にとりくんでいきます。

クールビズとは？

地球温暖化の原因となる CO2 を削減するために、冷房時の室温を 28℃にしてもオフィスで快適に過ごすための様々な工夫のことです。

クールビズは、「冷房時の室温を 28℃にして、暑さを我慢する」ものではなく、「室温を 28℃にしても、涼しい服装をしたり、カーテンやブラインドで直射日光を避けたり、扇風機を併用したりして、さまざまな工夫で快適に過ごそう」という取り組みです。



昭和大学旗が丘盆踊り大会開催のお知らせ

昭和大学旗の台キャンパスで大学の関係者と地域の方々との交流を目的とした「昭和大学旗が丘盆踊り大会」を開催します。当日は模擬店やゲームなどが催される屋台が並び、花火やスイカ割りなどが行われます。浴衣でお越しになる方も多く、毎年大変盛り上がるイベントですので、是非ご参加ください。



日時：平成29年7月28日（金）～29日（土）

17:00～21:00

会場：昭和大学 旗の台キャンパス

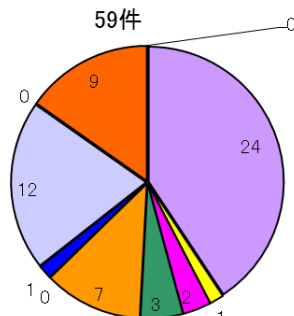


【昨年の盆踊り大会の様子】

患者さんのご意見・要望

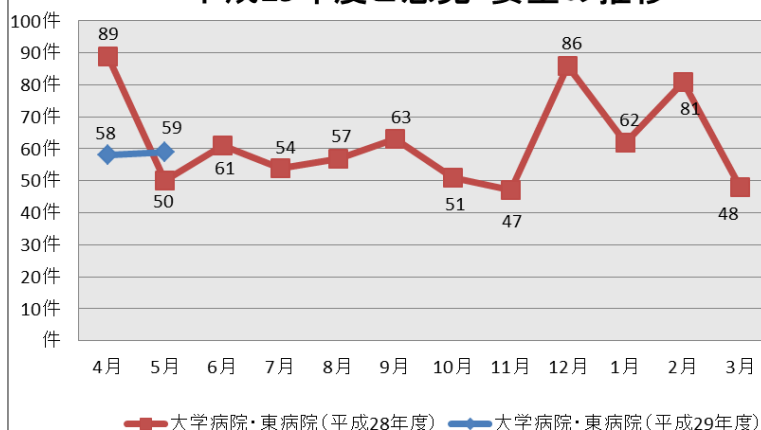
ご意見・要望	回答	回答部署
灰皿を置いてください。	当院では健康増進法に基づき、敷地内全面禁煙としております。そのため、今後も病院敷地内に灰皿を設置することは考えておりません。	管理課
小児科外来に絵本やおもちゃがあると助かります。もちろんいくつかは持参していますが、待ち時間が長いとあきてしまうので。	貴重なご意見ありがとうございます。また、診察開始までお待たせしてしまい申し訳ございません。 これまで、小児科外来の待ち合いには絵本を設置しておりましたが、平成28年11月に撤去しました。 当院は特定機能病院であるため、特に多様な症状の患者さんが来院されます。そのため、複数の方が、清拭する間もなく代わるがわる使用するもの設置するのは、衛生的に難しいと判断し撤去しました。おもちゃについても同様の観点から設置は差し控えたいと考えております。 以上、ご意向に添えず申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願い致します。	クオリティマネジメント課

平成29年5月分
ご意見・要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
59件



- 態度・接客
- 診療内容
- 予約
- 待ち時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境(清掃・設備備品・エレベーター)
- 環境(駐車場)
- 感謝
- その他

平成29年度ご意見・要望の推移



昭和大学病院附属東病院リハビリテーション室の設立報告

平成29年5月8日（月）より昭和大学病院附属東病院にリハビリテーション室が設立されました。場所は1階旧皮膚科外来で、現整形外科外来の奥に有ります。スタッフはリハビリテーション科医師1名、理学療法士3名、作業療法士3名です。リハビリテーション室及びベッドサイドにて主に急性期のリハビリテーションを行い、他部署のスタッフと協力しチーム医療により患者さんの身体機能向上及び早期退院に向けて貢献出来るよう努めてまいります。



【昭和大学病院附属東病院にリハビリテーション室の様子】

編集後記

梅雨に入り、雨が降ると木々の緑がますます濃く見える感じがします。木々も梅雨にしっかりと栄養分を貯え、猛暑を乗り切るための準備を行っているに違いありません。

2020年の東京オリンピックに向けて、多くのスポーツ種目で若い選手が活躍しています。東京オリンピックに向けての準備が着実にできている証と思われます。2020年の東京オリンピックが本当に楽しみです。

広報委員会におきましても、この「だより」をしっかり準備して発行しております。毎月楽しみにしていただけましたら幸いです。

佐藤 久弥



昭和大学病院・附属東病院の理念

- ・患者さん本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者さんと共にチーム医療を実践する。
- ・特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- ・教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- ・人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。

病院広報委員会委員： 荒川 千春、飯田 真由、磯飛 雄一、稲垣 克記、大嶽 浩司、佐藤 久弥、白井 敦、鈴木 隆、中村 清吾、平野 勉、結城 祐磨、吉田 仁、渡邊 聡（50音順）